

防火地域とは

(1) どのような地域に指定するの？

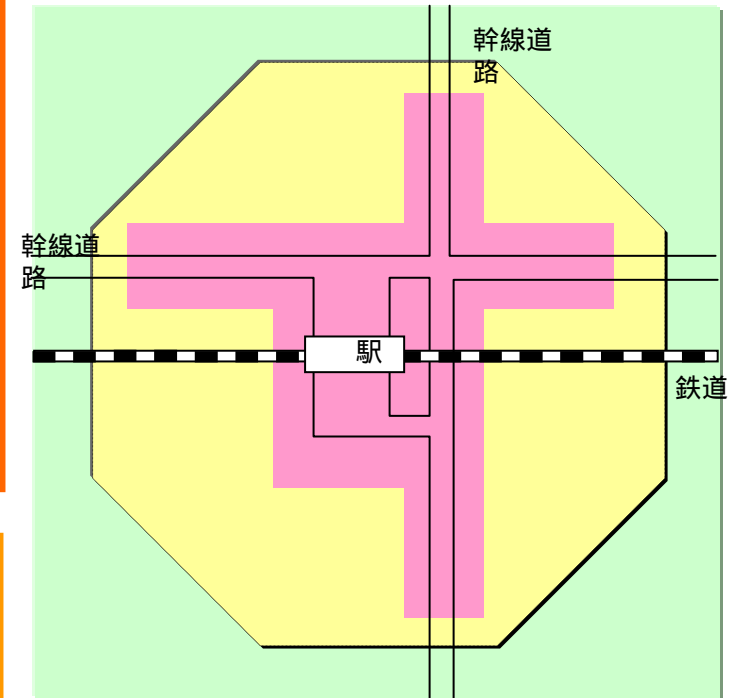
- 都市の中心部で商業施設が建ち並び人通りや交通量が多い
- 地域や災害時に緊急車両が通る幹線道路沿いの地域などです。

(2) 防火地域では、どのような建物にするの？

- 小規模なものを除き、**耐火建築物** (1) にします。

1 耐火建築物とは

- (1) 周囲に延焼せず、建物が倒壊してしまうほどの変形や損傷などが起きないような建物で、外壁の開口部の延焼の恐れがある部分には、防火設備を設置します。
- (2) 鉄筋コンクリート造や耐火被覆を施した鉄骨造などは耐火建築物です。



防火地域
準防火地域

準防火地域とは

(1) どのような地域に指定するの？

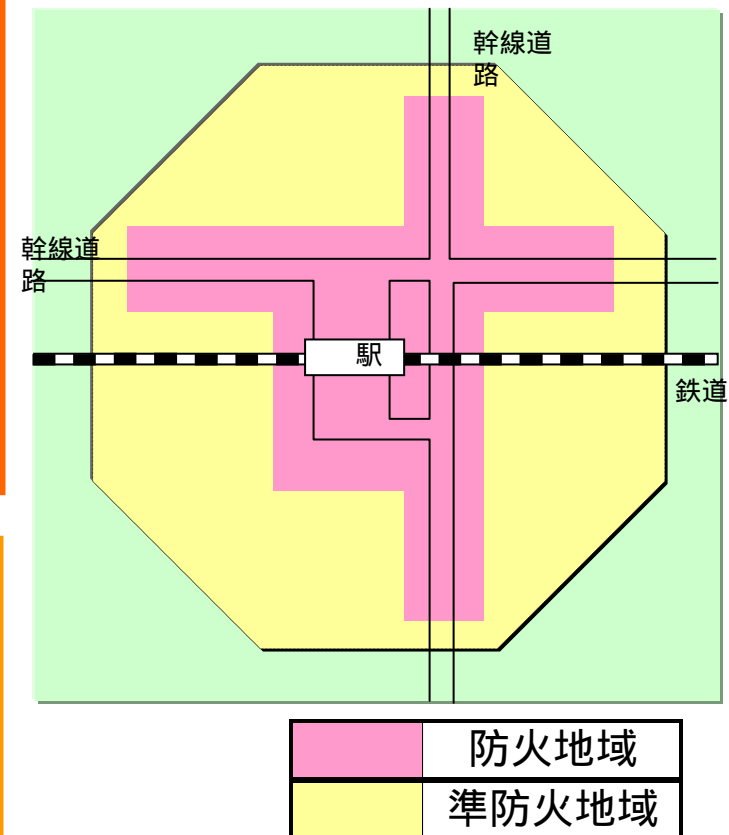
- 住宅などの建物が密集している地域です。

(2) 準防火地域では、どのような建物にするの？

- 全体的な防火性能を高め、延焼の抑制を図るため、地域内の建物は規模に応じて、防火措置した建築物にします。
- **準耐火建築物(2)**にします。

2 準耐火建築物とは

- (1) 主要構造部を耐火建築物の構造に準じた耐火性能にしたもので、外壁の開口部で延焼の恐れのある部分に防火設備を設置します。
- (2) 木造の建物でも、主要構造部を防火被覆する事により、準耐火建築物となります。



防火措置の例

延焼の恐れのある部分

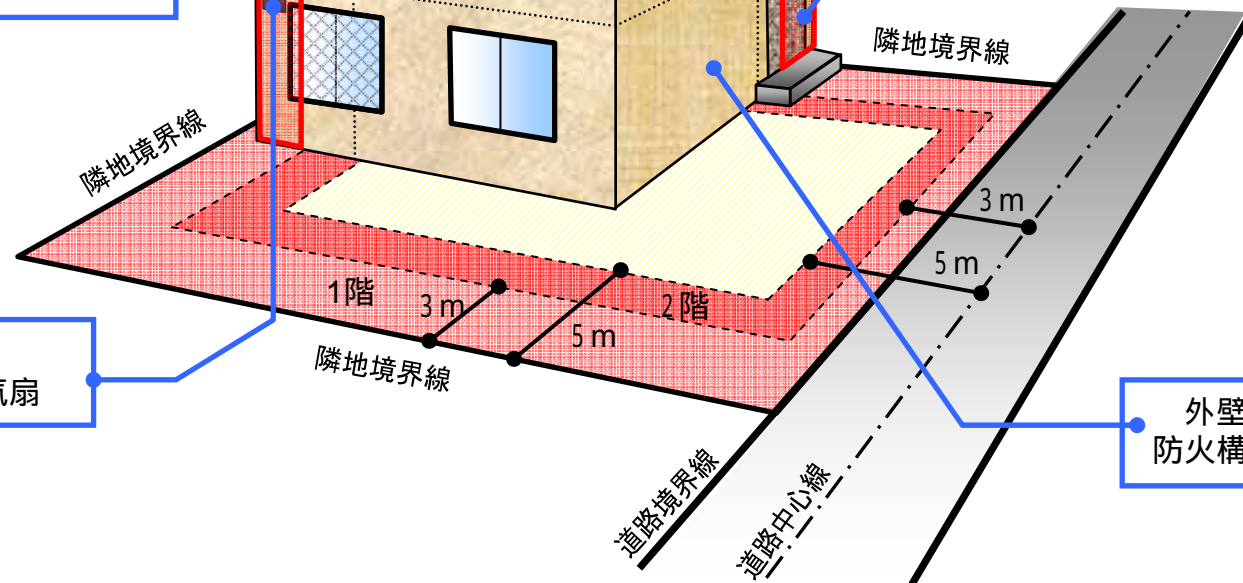
延焼の恐れのある部分とは、隣地境界線又は道路中心線から1階にあっては3m以内、2階以上にあつては5m以内の距離にある建物の部分を指します。

開口部 窓
防火戸（網入りガラス）

開口部 玄関扉
鉄製または防火認定を受けたもの

開口部 換気扇
ダンパー入り換気扇

外壁
防火構造仕様



防火地域内の構造制限

防火地域内の構造制限の概要

種 別		防火地域	
階 数	延べ面積	100m ² 以下	100m ² 超
4階以上			
3階		耐火建築物	
2階以下		耐火建築物 又は 準耐火建築物	

現在の建物は、そのまま使用して構いません。

建替えや改築の際に耐火建築物にしてください必要があります。

準防火地域内の構造制限

準防火地域内の構造制限の概要

種別 階数	延べ面積	準防火地域(階数算定には地階を除く)		
		500㎡以下	500㎡超 1,500㎡以下	1,500㎡超
4階以上				
3階		注	耐火建築物 又は 準耐火建築物	耐火建築物
2階以下		防火処置した 建築物		

現在の建物は、そのまま使用して構いません。

建替えや改築の際に準耐火建築物にさせていただく必要があります。

注) 建築基準法に定める技術的基準に適合する建物でも可能です。